

日本サーバス関東支部会報 2011年6月25日発行

日本サーバス関東支部事務局	支部長:	〒
	(issued by)	Tel /Fax
年会費 3000 円	郵便口座(Post Office Account No.): 00170-9-725193	日本サーバス関東支部事務局
		(Nihon Servas Kanto Shibu Jimukyoku)

今号のトピックス

1. 5月国内会議の報告
2. 被災地支援活動の報告
2. 2011年度ホストリスト、会則同封

国内会議の報告 (簡易版)

東日本大震災等の影響により、3月末に予定されていた国内会議が延期され、5月28、29日に全国からの約30名の参加者で行われました。議事録については、本部より後日公表の予定ですが、簡単にお知らせします。

1. 昨年度決算報告承認と本年度予算の決定：

来年予定の50周年記念誌発行にかかる費用が—昨年来本部予算から支出されているので、会計担当から支部負担金の増額の要請があり、議論の結果、本年度と来年度に支部から本部へ納入する分担金が昨年までの1人400円から750円に値上げすることを決定しました。国内会議への旅費補助、国際会議への派遣費用の見直しについても議論されました。

2. 50周年誌発行過程と予算措置の決定

一部の支部よりまだ資料が集まっていないこと、編集委員の不足、印刷費用節約のため、韓国での印刷、電子データで済ます等の意見がだされ、今後の検討課題となっています。また、50周年誌掲載原稿を受付けています。A4横書き、45文字、40行、MSP明朝体の10.5ポイントでお願いします。

3. 各支部の昨年度の活動報告と決算の報告
4. 日本サーバス活性化の方法論と実行

主に日本サーバスのホームページの改良案について話し合われました。会員の情報交換に加え、会員外の人へのPRのため、実質的なトップページに「ホームステイ」や「海外」等の語を使ったキャッチフレーズを入れること、関東支部のHPを利用する等の意見がだされましたが、IT担当者により改良案が検討されます。また、JTW(国内サーバス旅行)の活用も提案されました。

5. 国内会議開催順番の決定

現在近畿支部と関東支部で順番に主催している国内会議を7支部の輪番制に戻すとの提案がありましたが、旅費の点からまだ難しいとの意見が多く、来年は近畿開催が決定し、再来年は九州開催を目指す

ことになりました。

6. 震災被災地支援体制の確立

東北支部のTさん、Oさんの支援活動の報告。個人よりも、NPO法人等の名を使って活動するほうが活動しやすく、サーバス名称を使って活動している。支援のための口座は本部で管理してほしいとの要望がありました。当面、現地での活動はT氏他が行ってくれますが、日本サーバスのHPに活動状況が掲載されていますので協力をお願いします。支援金寄付用の口座開設については現在準備中です。

6. 本部役員決定

本部会長に関東支部のT氏、ピースセクレタリーに東北支部のT氏が正式に就任しました。なお、東北支部長にはTが就任しました。

日本サーバスHP掲示板の利用

掲示板ができ、会員間で情報交換や大震災支援につながっていましたが、書き込みには入ってきませんでした。そこで、書き込みに関しては、会員のみに限定するため、IDとパスワードの情報を入力することになりました。この情報はサーバス会員のみへのお知らせしております。会員以外漏れないようご注意ください。

会長就任のご挨拶 T

2011年6月6日記

去る5月28日と29日に東京で開催された第33回日本サーバス国内会議で今期(2011年と2012年)の会長就任を了承されました関東支部の田中国夫です。昨年初頭に富岡会長がご家庭の事情で会務を継続できなくなったため、副会長であった私が会長代行を1年つとめ、今次の国内会議を主催しました。会長に立候補者はなく、推薦を受けた数名も辞退したため、私が正式な会長に就任することとなったものです。私とその器でない程度は菅直人クンの比ではないのですが、今はPositive Thinkingに徹して開き直り、日本サーバスのためになると信じることを実行していきたいと思えます。

今は昔、東京オリンピックを機に日本人の海外旅行が自由化され、限度額 500 ドルの外貨をポケットに欧米へ流れた若者の波に乗って私も安上がり欧州旅行を志し、「海外旅行あなたの番」とか「Europe 5\$ a day」の本でサーバスを知って初代会長の天野さんを訪ねました。それ以来、サーバスを通じた有意義な体験と様々な出会いに恵まれて、サーバスを除いたら私の人生に何が残るかと思問するほどです。この間の社会の変転や科学技術の進歩に照らして、サーバスの理念や方法は賞味期限が切れているのではないかと疑問が一部に聞かれますが、そんなことはないと思います。特定の宗教や思想信条にとらわれずに、人間性の基本的に善なることを信じて、個人対個人の信頼関係に基づく交流の輪を作り続けていくことは、どんな世の中になっても大切ではないでしょうか。

サーバスの活動は、個々の会員の交流活動の積み重ねです。組織としての日本サーバスの仕事は、皆様の活動が円滑に有意義に進められるよう後方支援することと、サーバス活動を外部の人に知ってもらうよう、特に若者を引き付けるよう前方展開することだと思います。

皆様のお力を貸して下さい。

サーバス関東支部の役員募集

たびたびお願いしておりますが、関東支部長の交代をお願いします。主に入会等の面接は他の会員にお願いしておりますが、関東支部長として事務作業を一括お願いしたいです。会報作成、発送、例会アレンジ、LOI 発行、海外からのリスト管理、海外からの問い合わせ回答等の仕事があります。仕事の分担だと、早めに準備してお願いするのが正直面倒です。誠に勝手ながら、今後、申し訳ありませんが、関東支部長としては手抜きとさせていただきます。どなたか代わって下さい。

支部会計も 10 年以上に亘り、同じ方がやって下さっています。新旧会員を問いませんので、ぜひ、交代をお願いします。

被災地支援活動の報告

6月16日(木) 晴れ

今日は、石巻の「遊楽館」に物資を運びました。朝からよく晴れており、11:30 に白石を出発して 13:30 に到着しました。(片道約 150Km、約 2 時間でした) アリーナに避難している方々は 70 名で、日差しが強かったために大きなブラインドが下がっていて、比較的過ごしやすい温度になっていました。

先週末た折り、婦長さんから「夏に向けてタオルケットが欲しい」という話があったので他の団体からでも、タオルケットが届いているかと思渡しました。皆さん、毛布をかけており、タオルケットがありませんでした。今回持参したタオルケットは 17

枚。その他バスタオルの大判 27 枚、中判 120 枚、フェイスタオル 840 枚、その他に約 3 トンの消毒薬やマスクでした。

運んだ物資は、アリーナに隣接する会議室で、先週、婦長さんから「もう消毒のクロス(ウェットティッシュの医療用)が無くなってしまってどうしようかと思っていた・・・」と言われたこともあって、全体の物資の量を確認する上で見せてもらいました。確かに、物資がありません。今日持参した内容で、ようやく全体に活気が出たような様子でした。これが、この避難所の現実なのかと少し、がっかりもしましたし、看護師さんや運営のスタッフ皆さんの毎日の苦勞が伝わってくるようでした。

運び終わってから、本部で婦長さんから御礼の御挨拶がありました。現場から一声かけていただくと、頑張りがいが出てきますね。そこで、お願いします。遊楽館で介護を受けている方々が 70 名です。

- ① 紙オムツはトレーニングパンツ型
- ② タオルケットが 70 枚を基準に倍数
- ③ フェイスタオル(切って下の世話用に捨てる場合や床の掃除用にいくらあっても重宝です。)が欲しい物品です。

会社からももらったものなど押し入れに眠っているものをお送りください。タオルケット、タオル類は長く押し入れに入っているとカビ臭くなっています。できれば、一回洗濯していただいて、気持ちよく使える工夫をお願いします。仕分けの段階で、全ての物のカビ臭さをチェックしてはおりますが、送る前に是非洗濯願います。前回は約 30 枚のタオルケットと敷布を洗濯してから現地に運んでおります。

送っていただく前をお願いします。タオルは箱やビニールや紙帯などを全て外してスッピンにして下さい。タオルについている、タグも取って下さい。看護師さんが箱から出してすぐ使えるようにしていただくと気持ちが伝わるように思います。こちらでも仕分けが楽になります。

また、タオルケットなど大量に頂ける企業などを御存知でしたら、是非お教え下さい。御近所、仲間、会社等でお声掛け頂き、ご協力下さい。大震災から 3 ヶ月たちましたが、まだ被災地には流れた自動車壊れた家が無残にそのままになっております。これからも、ご支援をよろしく願いいたします。

古いホストリストの処分につきましては、個人情報が含まれておりますので、厳重注意の上破棄してください。

イスラエルサーバス会長との交流会が 7 月 17 日(日)の夕方、I 方で予定されています。詳しくはサーバス関東HPの伝言板を見て下さい。